

「海の波と緑の葉」がシンボルに

匝瑳市の市章、5月14日制定



匝瑳市市章

平成18年5月14日、匝瑳市の市章が制定され、匝瑳市合併記念式典で披露されました。

インターネットでは、市のホームページから、「市について」を開き、市章上でクリックをすると詳細を見ることができま

【経緯】

市章デザインを平成17年12月1日から平成18年1月16日にかけて公募したところ、全国および海外から1、754点（海外から2点）の応募がありました。

7人の委員で構成される匝瑳市市章選定委員会の検討を経て、応募された作品の中から、最優秀作品として岡山県岡山市在住の合田（ごうだ）さち男さんの作品が選ばれました。そのほかに、優秀作品4点、特別賞10点も選ばれました。

【市章の趣旨】

海の波と緑の葉を表すデザインで、匝瑳市の「匝」の字と小さい匝瑳市民を表し、匝瑳市がシンボライズ（象徴）されています。橙色は「活力」、緑色は「成長」、青色は「未来」を表しています。

市章は、匝瑳市のシンボルとして、市旗や封筒、印刷物などに広く使用されます。

【市章デザイン入賞者】

◎最優秀賞

合田 さち男・岡山県岡山市

◎優秀作品

4作品（受け付け順）

小松 秀男・宮城県気仙沼市

水久保 義信・宮崎県都城

鈴木 由紀・愛知県豊橋市

上田 博文・大阪府柏原市

◎特別賞（小・中学生努力賞）

10作品（受け付け順）

◎小学生の部

加瀬 葵唯・八日市場小4年

伊藤 拓海・椿海小2年

多田 匡利・八日市場小5年

太田 智也・栄小3年

明智 隼翔・八日市場小6年

江波戸 紗於利・栄小5年

◎中学生の部

佐久間 春菜・

八日市場第二中2年

藤本 春樹・

熊本市九州学院2年

秋山 礼子・

八日市場第二中3年

実川 文香・

八日市場第一中1年

※敬称略、学年は平成17年度。

【市章の使用について】

市章の一切の権利は匝瑳市に帰属します。使用する場合は企画課へ相談してください。

なお、次の場合はその使用を制限する場合があります。

・匝瑳市の信用や品位を損なう恐れがあると認められる場合。

・自己の商標や意匠にするなど、独占的に使用する場合。

・そのほか、著しく不当と認められる場合。

新市のまちづくりを 子どもたちが 作文・絵画に

合併により新たに誕生した「匠瑠市」に、新市を担っていく子どもたちがどのようなまちづくりを期待しているのかを知り、今後の匠瑠市のまちづくりに生かすため、作文と絵画を募集したところ、市内11校から作文88点、絵画263点、総数351点もの出展がありました。その中から選ばれた作文・絵画の最優秀作品を紹介します。

○最優秀賞

市と町の『たしざん』

佐々木 翼・平和小1年

○優秀賞

そうさ市になって

佐藤 瑞妃・八日市場小2年

匠瑠市たん生!

芦川 恵実・八日市場小4年

匠瑠市になって

石井 真愉・吉田小4年

これからの匠瑠市

中村 梓・豊栄小6年

【絵画の部入賞者】

○最優秀賞

吉田小3年生共同制作

○優秀賞

山崎 美里・八日市場小5年

土屋 麻梨恵・匠瑠小5年

豊栄小6年2組共同制作

鎌形 夏光・野栄中2年

※敬称略、学年は平成17年度。

最優秀賞

市と町の『たしざん』

へいわ小一年 ささ木 つばさ
ぼくは、今、へいわ小学校の一年生。おべんきょうの中で、さんすうがーばんすき。なにかとなにかをがったいするときは、『たしざん』をつかうってならったから。『そうさ市』は、『八日市ば市』と『のさか町』



佐々木 翼くん

のたしざんだ! だから、しきにすると、八日市ば市+のさか町=そうさ市だ!

「わあーい、できたぞ! 市と町のたしざんが。」たしざんするとこたえは、大きくなる。きっと、大きくなった分、いいことがあるそうだ。

ぼくの大こうぶつは、おやつのかきのたね。右手に5つ、左手に5つ、いっきに口にほうりこむ。そうすりゃ5+5で10つたべられる。口の中は、なんともいえないピリピリでいっばいさ。おいしいものをもっとおいしくたべる方ほうとして、たしざんがつかえる。市と町のたしざんもおいしさがいっばいになるのと同じで、いいことがたくさんおきそうなよかんがする。

どんないいことがおきるか、考えてみたよ。

「①ひろくなるから、たのしいあそびばしょができるかも。」

「②人がふえるから、たくさんの友だちがふえるかも。」

「③八日市ばのうえ木と花、のさかの海ががたいするからすごくすてきな市になって、たくさんの方がりよこうにくるかも。」

いろいろ思うかべてみると、わくわくする。

一月二十三日、そうさ市のたん生日。ぼくは、かぞくで、おいわいのケーキをたべた。そうさ市がたん生したことで、いろいろなおみせで、きねんのケーキやおまんじゅうセットをうっていたんだって。ぼくのうちのケーキは、お母さんがかってきた。お母さんは、そうさ市になったことがうれしかったのかケーキを二つもかってきた。

「二つも?」

と、ぼくは、思わず言っちゃった。そうすると、お母さんは、

「ケーキは、おいしいし、おいわいだからおいしいものも二つでちょうどいいでしょ。」

だって……。ぼくのかきのたねのたべかたと同じだな。いもうともちびのくせにケーキが大すきでむしゃむしゃたべた。

この日から、ぼくのへいわ小学校も八日市ば市立へいわ小学校からそうさ市立へいわ小学校へと名前が変わった。もちろんじゅうしょも八日市ば市がそうさ市にかわった。『そうさ』ということばのいみは、あざやかでうつくしいといういみなんだって。うつくしいぼくの市、うつくしいぼくの学校、うつくしいおみせ、うつくしいどうろ……。 「そうさって、すてきなものがたくさんつまっているかんじだな。」

八日市ば市とのさか町のたしざんのこたえはあざやかでうつくしい『そうさ市』なんだ。

ぼく、そんなすてきなところに生まれてきてよかったな。



最優秀賞 吉田小3年生共同制作



最優秀賞に輝いた吉田小3年生と担任の伊藤先生(左上)